

収益部門（レストハウス）事業報告

概況

今年度は、ツアー送客数の減少や夏季の悪天候、秋季の台風による一般客の受け入れの減少など、過去最高だった前年度と比較してかなり厳しい状況であった。

特に、法改正によるバス料金改定などの影響で、ツアー客が大幅に減っており、その数は前年度約 55000 名に対して、今年度は約 34000 名で 21000 名の減少となりました。主な要因として、旅行会社があまちゃん効果など昨年まで続いた三陸ツアーの販促強化の反動を考慮し、利用客のマンネリ化につながらないよう、意図的に本数を限定した結果だと推測されます。二階売上と売店売上は減少いたしました。食堂売上やイベント売上などは、前年並み又は増加となっており、年間売上目標の 120,000,000 を何とか達成し、税引き後の当期利益額も確保できております。

今後の課題として、売上目標を達成するために、ツアー送客数の確保を最重要事項として、エージェントへの営業強化、商品のレイアウトやセールストークの見直しを図り、二階と売店の売上増加を目指してまいります。